

都道府県ライフセービング協会・関係者 各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部 本部長 田村憲章

【重要】2027 年度 全日本ライフセービング選手権大会 出場権付与方法の変更（特例措置）について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の諸事業に対しまして多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

2027 年度は、5 月に「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」、6 月に国際大会「International Surf Rescue Challenge（ISRC 2027）」が国内（御宿海岸）で開催されます。これに伴い、例年 6 月に開催しております「全日本ライフセービング種目別選手権大会」の単独開催を見送ることとなりました。

これにより、従来「種目別選手権上位 8 位」に付与していた全日本ライフセービング選手権大会（本戦）の優先出場権を付与することができなくなります。

つきましては、確実なトップ選手を獲得し、国内最高峰大会である全日本選手権の競技レベルを高く維持・確保することを目的として、2027 年 4 月から 7 月に開催される「A 種認定競技会」および「B 種認定競技会」を通じて 2027 年全日本選手権の出場権を付与する特例措置を実施いたします。

都道府県協会におかれましては、本特例措置の趣旨をご理解いただき、地域における対象認定競技会の開催について前向きにご検討賜りますようお願い申し上げます。なお、開催をご検討いただける場合は、期日までの開催申請手続きをお願い申し上げます。

記

1. 2027 年全日本選手権 出場権付与の特例概要

例年の「種目別選手権上位 8 位」への出場権付与に代わり、2027 年 4 月 1 日～7 月 31 日に開催される指定の認定競技会（A 種・B 種）における成績等に基づき、2027 年全日本ライフセービング選手権大会（本戦）の出場権を付与します。各認定競技会で高いパフォーマンスを示したトップ選手に本戦出場権を割り当てます。

2. 対象となる認定競技会

【対象期間】2027 年 4 月 1 日（木）～ 2027 年 7 月 31 日（土）

【対象区分】A 種認定競技会 および B 種認定競技会

【主催者】都道府県ライフセービング協会

3. 主催協会向け 認定競技会の開催検討および申請について

本特例措置の対象となる認定競技会（2027 年 4 月～7 月開催分）の開催をご検討いただける協会におかれましては、全国での出場枠調整および選手への事前周知を行うため、以下の期日までに開催申請書類のご提出をお願い申し上げます。

■ 申請提出締切：2026 年 12 月末日（厳守）

※通常の申請期限（開催月の前々月末日）とは異なりますのでご注意ください。

【お問い合わせ】

公益財団法人日本ライフセービング協会

事務局 担当：水川

電話:03-6381-7597

メール：mizukawa@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

2027 年度 全日本ライフセービング選手権大会 出場権付与に関する運用詳細・申請ガイドライン

1. 背景・目的および基本方針

2027 年度の国内競技会スケジュールにおいては、5 月に「ワールドマスタースゲームズ 2027 関西」、6 月に国際大会「International Surf Rescue Challenge (ISRC 2027)」といった大規模な国際大会が連続して国内（福井県若狭和田海岸および千葉県御宿海岸）で開催されます。これに伴い、例年 6 月に実施している全日本ライフセービング種目別選手権大会の単独開催を見送る決定がなされました。この結果、従来行っていた種目別選手権上位 8 位に対する全日本ライフセービング選手権大会（本戦）の優先出場権付与が実施できない状況が生じております。

本特例措置は、単独開催の見送りに伴う代替措置として、全国の A 種および B 種認定競技会を活用した新たな出場権付与ルートを構築することを目的としています。地域で開催される認定競技会を通じて、実力のあるトップ選手を確実に出場枠へ引き上げ、国内最高峰の大会である全日本ライフセービング選手権大会（本戦）における競技水準と高い質を確保することが本措置の基本方針です。各都道府県協会におかれましては、本方針の主旨をご理解いただき、認定競技会の積極的な開催についてご検討をお願いいたします。

2. 認定競技会における出場権付与の仕組みと選考基準

本特例措置における出場権付与および選手登録に関する運用基準は以下の通りです。

- ・ **トップ選手の獲得と出場枠の割り当て**：各認定競技会（A 種・B 種）の規模、競技レベル、審判配置体制等を総合的に勘案し、ライフセービングスポーツ本部にて審査の上、各種目の本戦出場権（通過枠）を割り当てます。
- ・ **A 種認定競技会における取り扱い**：JLA 選手登録が必須となります。公式記録に基づきトップ選手へ出場権を付与します。
- ・ **B 種認定競技会における取り扱い**：未登録選手の参加も可能ですが、全日本選手権の出場権を獲得・行使するためには、JLA 選手登録が必須条件となります。
- ・ **競技水準の厳格な維持**：認定競技会規程（A 種：公式種目割合 70%以上、B 種：30%以上等）に基づく厳格な運営・判定のもとで測定された公式記録・着順のみを対象とします。

3. 主催協会（地方ブロック・都道府県協会）の手順・申請方法

- ① **開催のご検討**：地方ブロックおよび都道府県協会におかれましては、2027 年 4 月～7 月の期間における認定競技会（A 種・B 種）の開催、および本戦出場権付与対象種目の設定についてご検討をお願いいたします。
- ② **申請書類の作成**：認定競技会申請書に、実施予定種目、安全管理体制、審判配置計画、および「全日本出場権付与対象種目」の希望を明記の上作成してください。
- ③ **申請書の提出**：2026 年 12 月末日（厳守）までに、JLA 事務局へ提出してください。
- ④ **審査および枠割り当て決定**：提出された申請書に基づき、ライフセービングスポーツ本部にて審査を行い、各大会の出場権割り当て数を決定・通知いたします。

4. 全体スケジュール

時期	項目・区分	内容および対応事項
2026 年 10 月	本特例措置の公開	全日本選手権会場および JLA 公式 Web サイトにて案内告知を公開
2026 年 12 月末日	認定競技会 申請締切	各主催協会からの「認定競技会開催申請書類」の提出締切
2027 年 1 月～2 月	枠割り当ての決定・発表	ライフセービングスポーツ本部での審査、各大会への通過枠決定・通知
2027 年 4 月～7 月	対象認定競技会の開催	各地で A 種・B 種認定競技会を開催し、成績上位のトップ選手が本戦出場権を獲得
2027 年 10 月（予定）	第 53 回全日本選手権（本戦）	本特例措置等により選出されたトップ選手による国内最高峰大会の開催